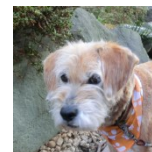


DogNose通信(23)2019-1-3



DogNose永遠のルーキ: Luke

- センサ研究開発・製造販売
- 課題解決型のセンサ開発
- シーズベースのセンサご提案
- IoTセンサシステム製造販売

News:

- (1)ご挨拶:2019年 新春
- (2)試作例: Dog Sniffer 開発完了、キャリブレーションに時間が掛かっています。
- (3)東京商工会入会・PL保険制度活用

News:ご挨拶:2019年 新春

DogNoseセンサ技研も開業して4年目に入ります。謹んで新春のご挨拶をさせていただきます。本年春には自主開発品の販売を開始したいと思います。

DogNose今回の製作例:

(1) Dog Sniffer 開発完了、キャリブレーションに時間が掛かっています。

試験販売を前提としたDogNose独自開発センサシステム: Dog Snifferの第一ロット3台を製作し、動作試験に入っています。各センサも予測通りの安定した動作をしますし、長期安定性も問題ありません。しかし、仕様書作成の為のキャリブレーションに多大な投資と時間がかかっています。多くのアナログセンサを使っているために、キャリブレーションが大変なのです。DogSnifferは傾向を見るのが目的なので精度は個々のセンサシステムよりも落ちますが、流石にある程度の(精度的な)検証は必要です。特に化学センサは物理センサよりも検証は困難です。このため、ハミルトンのマイクロシリンジを購入し、アルコール等の試薬定量を密封容器に入れて濃度計測・検量をします。ここで元研究者のスキルが生きています。

(2)東京商工会入会・PL保険制度活用

販売するための制約事項を調べたところ、電波法が関与しますが問題はなさそうです。(私もアマチュア無線・電話級は高校時代に取得していますが)しかし、万がーを考へてPL保険に入りました。東京商工会にも入会し、形だけは(立派な)中小企業です。

DogNoseセンサ技研

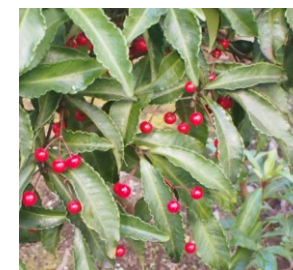
代表 三原 孝士(工学博士) 東京都西東京市

mihara.dognose.sen@gmail.com

<http://dognosesens.web.fc2.com/>



千両



万両



Dog Sniffer
第一ロット3台



キャリブレーションに使用する様々な
センサ群、および関連物品



東京商工会とPL保険